

**2025年 県学童軟式野球大会**

# **競技上の注意**

2025.07.20

(一財)栃木県野球連盟

審判部

# マナーを守った節度ある応援について

競技者必携2025 8頁

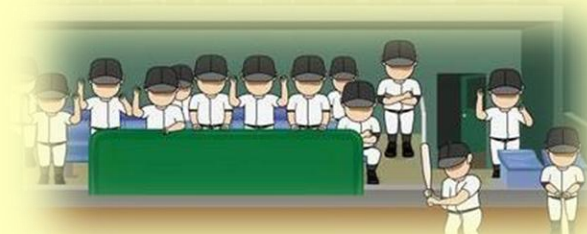
- ① マナーを守った節度ある応援をチームとして行う。(統制してください)
- ② 応援は自チーム全体を励ますもの。
- ③ 対戦相手に(特に投手)プレッシャーをかける応援はしない。
- ④ 素晴らしいプレイには、自チーム、相手チームに関係なく、称賛を送る。
- ⑤ 鳴り物を使っの応援は自チームの攻撃時のみとする。  
守備時はNGで、さらに、声をあわせた声援、手拍子もNGです。
- ⑥ 応援(演奏)開始は、各イニングの先頭打者が、アナウンスされてから  
もしくは「プレイ」が宣告されてからとする。



# 試合のスピード化マナーに関する確認事項

## 【チーム】

1. 攻守交代は、駆け足でスピーディに行うこと。(コーチも励行する)。  
ベンチにいる選手は、先に給水しておくこと。
2. 日程・時間に余裕がある場合でもスピーディな試合進行を意識すること。
3. ベンチ前の整列は、出過ぎないこと。プレイのコールを待たせないこと。
4. 投手が投手板に触れて投球位置についたら、  
投手の動揺を誘う声を発しない。



# 試合のスピード化マナーに関する確認事項

## 【投手】

1. 遅延行為とみなされる投手のけん制球はやめさせること。(不要と思われるけん制)
2. 牽制後、牽制した塁の方向へ向かって、マウンドを降りないこと。
3. 投手は、ロジンバッグを指先だけで使用し、丁寧に取り扱うこと。
4. 捕手から返球を受けた投手は、  
速やかに投手板に着き投球動作に入ること。



# 試合のスピード化マナーに関する確認事項

## 【捕手】

1. 捕手は、返球したり声をかけるためにホームプレートの前や横に出過ぎないこと。  
プレイが必要な場合以外は、返球の際、前に出ないこと。
2. サインについて、複雑なものは無くし、速やかに出すよう指導すること。
3. 捕手の行動を機敏にさせること。  
速やかなサイン・用具の脱着・バックアップや  
打合せの後、速やかに守備位置に戻る。





# 試合のスピード化マナーに関する確認事項

## 【打者】

1. 攻撃側の第一打者・次打者を所定の位置に速やかに着くよう喚起すること。
2. 打者はみだりに打者席を外さないこと。(サインは必ず打者席内で見ること)
3. 次打者席では、投手が投球に関連する動作(サインを見る姿勢)に入ったら速やかにスイングをやめ投球を注視すること。



# 試合のスピード化マナーに関する確認事項

## 【野手】

1. 内野手のボール回しは定位置で1回りとする。
2. 内野手が投手に返球するときは、定位置で返球すること。
3. マウンドまで持って行かせない。このような行動は即注意し徹底させること。
4. 内野手がアドバイスなどでマウンドへ  
近づかないよう注意すること。(タイムの回数制限に注意)
5. タイムをかけ意図的にスパイクの紐の結び直しをすることは認めない。



# その他 確認事項

## 【シートノック】

(1) 補助員としてコーチ（背番号29・28）を認める。ダートサークル内に留まる、あるいは出入りする**補助員は、ヘルメットを着用すること。**

なお、**コーチ1人のブルペン捕手を、試合開始前までの間、許可する。**

（マスクを着用すること）

(3) ノッカーも必ず選手と同様のユニフォームを着用し、捕手はプロテクター、レガース、捕手用ヘルメット、ファウルカップを必ず着用す





## その他 確認事項

### 【シートノック】

(5) シートノックを行うことができない補助員もいることから、ベンチ前での  
サイドノックを認める。

サイドノックとは、ベンチ前を利用して塁間程度の距離で  
ゴロ打球の捕球練習をすることを言う。

ノッカーにボールを渡す選手や野手からの送球をノッカーの  
近くで捕球する選手は必ずヘルメットを 着用すること。



## その他 確認事項

### 【 トスバッティング 】

球場内ではトス(ペッパー)バッティングのみ認める。

➡ペッパーバッティングとは？

打者と守備手が1組となってトスバッティングとゴロ捕球を同時に練習する方法。



### 【 外野での練習 】

その日の第1試合に出場のチームは、外野に限り練習に使用してもよい。

その際、アップ用の服装(同一が望ましい)でもよいが、

打順表の提出時には、全員ユニフォームに着替えていること。

# 学童部バット使用制限

□安全性を考慮し、学童部では、一般バットのうち、打球部にウレタン、スポンジ等の素材の弾性体を取り付けたバットの使用を2025年より禁止する。

なお、一般用のバットであっても、上記以外の木製・金属製・カーボン製・複合(金属／カーボン)バットについては、使用制限は行わない。(注)少年用バットの使用制限は行わない。



# 捕手用マスク



※ 硬式野球用のマスクは大変危険です！ 軟式野球用を使用しましょう

●全日本軟式野球連盟  
公認マーク (JSBB)

J.S.B.B

●SGマーク





# 用具点検

- ・試合開始前に用具点検を実施します。  
確認するのは、バット・ヘルメット・キャッチャー  
用具一式（予備も含む）・規則書・競技者必携

大会前にチーム内で、用具の確認を行ってください。  
（バットの割れ・ひび、グリップテープの剥がれ、  
ヘルメットの割れ・内側の剥がれ、認証シールなど）

- ・指導者は、規則書・競技者必携の熟読をお願いします。



